

設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部設置
フリガナ者	コウチダイガク 国立大学法人 高知大学
フリガナ名称	コウチダイガク 高知大学 (Kochi University)
新設学部等において養成する人材像	<p>【人文社会科学部人文社会科学科】</p> <p>①経済・社会・文化が一国の枠を越えて一段と結び合う一方、その急激な展開が、個々の地域で又個別の組織・集団の間で摩擦を生み出し、それをのりこえる新たな必要性に直面している。この課題に対応するため、人文社会科学の専門的、学際的教養をそなえて、グローバルかつローカルな課題の把握・解決のために貢献できる人材を養成する。</p> <p>②学生は、「人文社会科学領域」の教養を基軸として、人文社会科学に関連する教養の修得に並行させ、特定分野の専門教養の修得を可能にする「コース」に所属して個別指導を受け、それを通して、グローバルかつローカルな課題の把握・解決のための専門的教養を身につける。</p> <p>③ 主な卒業後の進路 教員(中学の国語・社会、高校の国語・地歴等)、公務員(文教、総務等一般行政部門)、文化関係の企業(書籍販売、出版社、情報・通信、医療・福祉、大学院進学)。 国や地域を越えて活動する企業(旅行・ホテル・航空会社等)、教員(中学・高校の英語等)、日本語教員(海外協定校を含む)、国際協力・支援NPO、大学院進学。 金融業、製造業などの民間企業の管理部門、公務員(一般行政部門、福祉関係)、教員(中学の社会、高校の公民・商業等)、大学院進学。</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>【人文学部】</p> <p>①本学部は人間への深い洞察力と国際化に対応できるコミュニケーション能力を身につけ、地域社会に貢献する人材を育成する。</p> <p>②総合的学識に裏付けられた幅広い教養、人文・社会科学の基礎的専門知識、論理的思考力及び総合的表現力、習得した知識を統合し活用する能力を身に付けさせる。</p> <p>③公務員、教員(高等学校・中学校の国語、英語、社会、商業)、医療・福祉、金融・保険、流通、情報・通信、農協・生協、大学院進学。</p> <p>【人文学部人間文化学科】</p> <p>①哲学・心理学・言語学・歴史学・地理学・文学・語学などを広く学び、人間や社会・文化に関するさまざまな問題を深く追求し、それに基づいて批判的な精神と創造的な能力を持ち、社会・文化に貢献できる人材を養成する。</p> <p>②学生は、3つのコースに分属し、人文科学の幅広い知識と教養に裏付けられた判断力を持ち、社会の変動に適応できる能力を身につける。</p> <p>③公務員、教員(高等学校・中学校の国語、英語、社会)、医療・福祉、金融・保険、農協・生協、情報・通信、大学院進学。</p> <p>【人文学部国際社会コミュニケーション学科】</p> <p>①外国語の会得、異文化への深い理解、グローバル社会に対する批判的考察を通じて、幅広い問題意識と視野を持った人材を養成する。</p> <p>②外国語の習得を通じて、異文化間の相互理解力、幅広い問題意識と視野を身につける。</p> <p>③貿易、旅行会社、航空関係、教員(高等学校、中学の英語)、(外国人向け)日本語教師、大学院進学。</p> <p>【人文学部社会経済学科】</p> <p>①社会経済学科は、経済学・法学・経営学・会計学・政治学・社会学などの社会科学を広く学び、これらの学問的素養を活用して、企業や地域に存在する諸課題に実践的に取り組むことができる人材を養成する。</p> <p>②学生は、2つのコースに分属し、社会科学の幅広い知識と教養に基づいて、現代社会及び地域生活における諸課題に向き合い、その解明、展望を追求できる意欲と知識と技法を広く身につける。</p> <p>③金融業、流通業、公務員(県・市・町村役場、警察・消防、学校事務)、教員(高等学校・中学の社会科、商業)、大学院進学。</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>【人文社会科学部 人文社会科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、学芸員資格関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・中学教員1種(国語、社会)・高校教員1種(国語、地理歴史) [人文学科コース] <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・中学教員1種(英語)・高校教員1種(英語) [国際社会コース] <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・中学教員1種(社会)・高校教員1種(公民、商業) [社会科学コース] <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・認定心理士 <ul style="list-style-type: none"> ① 民間資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。
既設学部等において取得可能な資格	<p>【人文学部 人間文化学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、学芸員資格関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・中学教員1種(国語、社会、英語)・高校教員1種(国語、地理歴史、公民、英語) <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・認定心理士 <ul style="list-style-type: none"> ① 民間資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。 <p>【人文学部 国際社会コミュニケーション学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、学芸員資格関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・中学教員1種(英語、社会)・高校教員1種(英語、公民) <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 <p>【人文学部 社会経済学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員 <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、学芸員資格関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。 ・中学教員1種(社会)・高校教員1種(公民、商業) <ul style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	人文社会科学部 [Faculty of Humanities and Social Sciences]	人文社会科学科 [Department of Humanities and Social Sciences]	4	275	3年次10	1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	文学関係 経済学関係	平成28年4月	人文学部人間文化学科 人文学部国際社会コミュニケーション学科 人文学部社会経済学科 新規採用 計	20 22 20 1 63	11 8 6 0 25
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	人文学部(廃止)	人間文化学科	4	94	3年次6	388	学士(文学)	文学関係	平成16年4月	人文学部人間文化学科 退職 計	20 7 27	11 7 18
	国際社会コミュニケーション学科	4	83	3年次2	336	学士(学術)	文学関係 経済学関係	平成16年4月	人文社会科学部人文社会科学科 退職 計	22 5 27	8 3 11	
	社会経済学科	4	98	3年次2	396	学士(経済学)	経済学関係	平成16年4月	人文社会科学部人文社会科学科 退職 計	20 1 21	6 1 7	

【備考欄】

- ・学部の設置
農林海洋科学部農林資源環境科学科 (90)
農林海洋科学部農芸化学科 (45)
農林海洋科学部海洋資源科学科 (65)
- ・入学定員の変更等
理学部理学科 (△15)
理学部応用理学科 (△15)
人文学部人間文化学科(廃止) (△94 3年次編入6)(平成28年4月募集停止。3年次編入学定員は平成30年4月募集停止。)
人文学部国際社会コミュニケーション学科(廃止) (△83 3年次編入2)(平成28年4月募集停止。3年次編入学定員は平成30年4月募集停止。)
人文学部社会経済学科(廃止) (△98 3年次編入2)(平成28年4月募集停止。3年次編入学定員は平成30年4月募集停止。)
農学部農学科(廃止) (△170)(平成28年4月募集停止)

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					
共通 教育 科目	教養科目 社会分野	国際関係を考える		2		○				1						兼1	オムニバス 集中	
		政治を考える		2		○					1							
		政治を考える		2		○												
		社会学を学ぶ		2		○				1								
		社会学を学ぶ		2		○												
		法を学ぶ		2		○						1						
		憲法を学ぶ		2		○					1							
		憲法を学ぶ		2		○												
		憲法を学ぶ		2		○					1							
		憲法を学ぶ		2		○												
		企業経営を考える		2		○				1								
		企業経営を考える		2		○				1								
		男女共同参画社会を考える		2		○				3								
		企業と労働を考える		2		○				1								
		経済を考える		2		○							1					
		経済を考える		2		○					1							
		経済を考える		2		○							1					
		経済を考える		2		○							1					
		お金と経済		2		○							1					
		子どもの発達と生活		2		○												
		食生活論入門		2		○												
		市民社会論入門		2		○						1						
		社会調査データの分析		2		○												
		森との共生を探る		2		○					1							
		市民生活と法		2		○						1						
		平和と軍縮		2		○					1	1						
		日本の刑事司法を考える		2		○						1						
		メディア社会論		2		○					1							
		英語レクチャー(Global Issue)		2		○					1							
		環境社会論入門		2		○												
		消費者問題と法		2		○												
		障害者支援入門	1・2・1学期	2		○												
		障害者支援の理論と実践		2		○						1						
		現代日本の社会と政治		2		○												
		経済史入門-比較鉄道史研究から見た工業化類型論-		2		○												
		福島原発事故を考える		2		○					3	1	1					
		大学政策論入門		2		○												
		非営利法人経営論入門		2		○												
		社会起業論		2		○												
		まちづくり論		2		○												
		スポーツ文化論		2		○												
		食と農の経済学		2		○												
		社会的経営論		2		○												
		川と人の生活誌		2		○												
		地域活性化について学ぶ		2		○												
高知の中小企業を知る		2		○														
高知県の産業と観光		2		○														
サービスマーケティング演習	1・2・3・4・通年	2					○											
中山間地域の生活と環境 I	1・2・3・4・通年	2					○											
中山間地域の生活と環境 II	1・2・3・4・通年	2					○											
地域協働企画立案	1・2・3・4・通年	2					○											
地域協働実習 I	2・3・4・通年	2					○											
地域協働自己分析	2・3・4・通年	2					○											
社会協働実践	1・2・3・4・通年	2					○											
協働実践自己分析	1・2・3・4・通年	2					○											
ソーシャルキャピタル論入門	1・2・3・4・通年	2					○											
地域の中で武道を育てる	1・2・3・4・1学期	2					○											
四国の地域振興	1・2・3・4・2学期	2					○											

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
社会 分野	情報社会論	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	メディア
	地方政府論	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	メディア
	地域コンテンツと知財管理	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	メディア
	香川を学ぶ	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	メディア
小計 (62科目)		—	0	124	0	—	—	—	9	8	6	0	0	兼40		
生命・ 医療 分野	スポーツ科学講義A	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	スポーツ科学講義B	1・2・3・4・2学期		2		○									兼2	オムニバス
	スポーツ科学講義C	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	スポーツ科学講義D	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	スポーツ科学実技 (バドミントン)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼2	
	スポーツ科学実技 (バドミントン)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼2	
	スポーツ科学実技 (硬式テニス)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (硬式テニス)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (ゴルフ)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (ゴルフ)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (卓球)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (卓球)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (ネット型ゲーム)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (フィットネス)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (ボウリング)	1・2・3・4・1学期		1				○							兼1	集中
	スポーツ科学実技 (一から学べる筋力トレーニング)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (エアロビクス)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (剣道)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (バスケットボール)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (ディスクゲーム)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (ジョギング入門)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	
	スポーツ科学実技 (スキーⅠ)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	集中
	スポーツ科学実技 (スキーⅡ)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	集中
スポーツ科学実技 (スノーボードⅠ)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	集中	
スポーツ科学実技 (スノーボードⅡ)	1・2・3・4・2学期		1				○							兼1	集中	
健康A	1・2・3・4・1学期		2			○								兼5	オムニバス	
健康B	1・2・3・4・1学期		2			○								兼5	オムニバス	
健康C	1・2・3・4・1学期		2			○								兼6	オムニバス	
健康D	1・2・3・4・1学期		2			○								兼6	オムニバス	
アルコール学概論	1・2・3・4・1学期		2			○								兼3	オムニバス	
知の探訪	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
小計 (31科目)		—	0	41	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼28		
自然 分野	数理の世界	1・2・3・4・1学期		2		○									兼3	オムニバス
	数理の世界	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	数理の世界	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	法化学概論	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	自然の法則	1・2・3・4・1学期		2		○									兼7	オムニバス
	フードサイエンスの世界	1・2・3・4・1学期		2		○									兼15	オムニバス
	ライフサイエンスの世界	1・2・3・4・2学期		2		○									兼15	オムニバス
	物質の科学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼14	オムニバス
	地球と宇宙	1・2・3・4・2学期		2		○									兼2	オムニバス
	地球と宇宙	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	自然科学の歴史	1・2・3・4・2学期		2		○									兼4	オムニバス
	生物の多様性と生存戦略	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	土佐の自然と農業	1・2・3・4・1学期		2		○				3					兼11	オムニバス
	環境化学物質をどう考えるか	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	渚の自然史	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	色彩の世界	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	環境を考える	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	黒潮圏科学の魅力	1・2・3・4・1学期		2		○				3					兼11	オムニバス
	動物の進化	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	心の仕組みと脳発達障害	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
初学者の為の物理入門	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然分野	里山・里川環境科学	1・2・3・4・1学期		2		○									兼6	オムニバス
	大地の災害	1・2・3・4・1学期		2		○									兼2	オムニバス
	地震の災害	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	
	流れと波の災害	1・2・3・4・2学期		2		○									兼3	オムニバス
	災害と生きる	1・2・3・4・2学期		2		○									兼9	オムニバス
	魚と食と健康	1・2・3・4・2学期		2		○									兼10	オムニバス
	教の概念入門	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	海洋生物学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼4	オムニバス
	自然環境と人間	1・2・3・4・2学期		2		○									兼15	オムニバス
	生態系への人為的インパクト	1・2・3・4・2学期		2		○									兼2	オムニバス
	森林と地球環境	1・2・3・4・2学期		2		○									兼14	オムニバス
	生物時計のはなし	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	体験する数学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	みのまわりの科学	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	高知の自然と地質資源	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1	
	高知の農業と自然を実践して学ぶ	1・2・3・4・1学期		2			○								兼10	オムニバス 集中
	土佐の海の環境学Ⅰ：柏島から考える	1・2・3・4・通年		2		○				1						集中
	木の旅を辿る	1・2・3・4・1学期		2			○								兼9	オムニバス 集中
	コンピュータと教育	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	メディア
	四国の自然環境と防災	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア
	情報のいろは	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア
サイエンスリテラシーの化学	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1	メディア	
小計 (43科目)		—	0	86	0	—			3	0	0	0	0	兼121		
外国語分野	教養英会話	2・3・4・1学期		2			○								兼3	
	教養英会話	2・3・4・2学期		2			○								兼4	
	TOEIC英語	1・2・3・4・1学期		2			○			1					兼1	
	TOEIC英語	1・2・3・4・2学期		2			○								兼3	
	国際英語	1・2・3・4・1学期		2			○								兼2	
	リーディング・スキル	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	リーディング・スキル	1・2・3・4・2学期		2			○			1						
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4・1学期		2			○			2		2			兼3	
	ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4・2学期		2			○			1					兼2	
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4・2学期		2			○			2		1			兼1	
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4・1学期		2			○								兼2	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4・2学期		2			○								兼2	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4・1学期		2			○				2				兼6	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4・2学期		2			○								兼6	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4・2学期		2			○			1					兼3	
	韓国語 (朝鮮語)Ⅰ	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	
韓国語 (朝鮮語)Ⅰ	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
韓国語 (朝鮮語)Ⅱ	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
スペイン語Ⅰ	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
スペイン語Ⅱ	1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
小計 (21科目)		—	0	42	0	—			5	1	2	0	0	兼24		
キャリア形成支援分野	CBⅠ実習Ⅰ	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBⅠ実習Ⅱ	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBⅠ実習Ⅲ	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBⅠ実習Ⅳ	2・1学期		2				○							兼1	集中
	CBⅠキャリア開発講座A	2・1学期		2		○									兼1	集中
	CBⅠキャリア開発講座B	2・1学期		2		○									兼1	集中
	CBⅠ自己分析	2・1学期		2			○								兼1	集中
	CBⅠ企画立案	1・2学期		2			○			1					兼3	オムニバス 集中

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	キャリア形成支援分野	キャリアパス演習－ライティング養成講座－	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	集中
		キャリアパス演習－プライベートデザイン講座－	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
		進路決定支援演習－自分プレゼンテーション法－	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
		チームワークを考える	1・2・3・4・1学期	2			○									兼1	
		地域政策演習（ふるさと活性ゼミ）	1・2・3・4・2学期	2			○									兼1	
		介護等体験（事前指導、事後指導を含む）	3・4・通年	2					○							兼1	
		博物館学内実習	3・4・通年	2					○							兼1	
		博物館館園実習	4・通年	1					○							兼1	
	小計（16科目）	—	0	31	0	—			1	0	0	0	0		兼9		
	日本語	日本語I	1・2・3・4・1学期		2			○								兼1	オムニバス
日本語II		1・2・3・4・1学期		2			○								兼1		
日本語III		1・2・3・4・2学期		2			○								兼1		
日本語IV		1・2・3・4・2学期		2			○								兼2		
小計（4科目）	—	0	8	0	—			0	0	0	0	0		兼3			
日本事情	日本事情I	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1	オムニバス	
	日本事情II	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
	日本事情III	1・2・3・4・1学期		2		○				1							
	日本事情IV	1・2・3・4・2学期		2		○				1							
	日本事情V	1・2・3・4・1学期		2		○									兼1		
	日本事情VI	1・2・3・4・2学期		2		○									兼1		
小計（6科目）	—	0	12	0	—			0	1	0	0	0		兼2			
専門科目	基礎科目 A群（人文科学分野） B群（社会科学分野）	リサーチリテラシー	1・2学期	2			○		4	5	6					オムニバス	
		哲学概論I	2・1学期	2		○										兼1	
		哲学概論II	2・2学期	2		○										兼1	
		倫理学概論I	2・1学期	2		○			1								
		倫理学概論II	2・2学期	2		○			1								
		宗教学概論I	2・1学期	2		○			1								
		宗教学概論II	2・2学期	2		○			1								
		心理学概論I	2・1学期	2		○										兼1	
		心理学概論II	2・2学期	2		○										兼1	
		日本史概論I	2・1学期	2		○			1								
		日本史概論II	2・2学期	2		○			1								
		東洋史概論I	2・1学期	2		○			1								
		東洋史概論II	2・2学期	2		○										兼1	
		西洋史概論I	2・1学期	2		○				1							
		西洋史概論II	2・2学期	2		○				1							
		人文地理概論I	2・1学期	2		○				1							
		人文地理概論II	2・2学期	2		○				1							
		日本語学概論I	2・1学期	2		○										兼1	
		日本語学概論II	2・2学期	2		○			1								
		日本文学概論I	2・1学期	2		○			1								
		日本文学概論II	2・2学期	2		○				1							
		英語言語学概論I	2・1学期	2		○				1							
		英語言語学概論II	2・2学期	2		○				1							
		アメリカ文学概論I	2・1学期	2		○			1								
		アメリカ文学概論II	2・2学期	2		○			1								
		イギリス文学概論I	2・1学期	2		○					1						
		イギリス文学概論II	2・2学期	2		○					1						
中国文学概論I	2・1学期	2		○										兼1			
中国文学概論II	2・2学期	2		○			1										
B群（社会科学分野）	グローバル社会への視座	1・1学期		2		○			2	3						オムニバス	
	地域研究入門	1・2学期		2		○			2	3						オムニバス	
	国際社会研究入門	1・1学期		2		○			2	3						オムニバス	
	社会制度設計論	1・2学期		2		○			6	8	7					オムニバス	
	経済学概論	1・1学期		2		○					1						
	日本経済概論	2・1学期		2		○				1							
	経営学概論	1・2学期		2		○			3	1						オムニバス	
ミクロ経済学I	1・2学期		2		○			1									

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
人文社会科学部 人文社会科学 プラットフォーム フォーラム 科目 専門科目	基礎科目 B群(社会科学分野)	計量経済学	2・1学期	2		○									兼1
		政治学概論	1・2学期	2		○									
		法学概論	1・1学期	2		○									
		社会学概論	2・1学期	2		○				1					
		憲法Ⅰ	1・1学期	2		○					1				
		民法Ⅰ	1・2学期	2		○				1					
	外国語科目	専門英語Ⅰ	2・1学期	2			○			2					兼3
		専門英語Ⅱ	2・2学期	2			○				3				兼3
		ドイツ語中級Ⅰ	2・1学期	2			○			1		1			兼1
		ドイツ語中級Ⅱ	2・2学期	2			○			1		1			
		フランス語中級Ⅰ	2・1学期	2			○								兼1
		フランス語中級Ⅱ	2・2学期	2			○								兼1
		中国語中級Ⅰ	2・1学期	2			○								兼3
		中国語中級Ⅱ	2・2学期	2			○			1					兼2
		スペイン語中級Ⅰ	2・1学期	2			○								兼1
		スペイン語中級Ⅱ	2・2学期	2			○								兼1
		韓国語(朝鮮語)中級Ⅰ	2・1学期	2			○								兼1
		韓国語(朝鮮語)中級Ⅱ	2・2学期	2			○								兼1
	外国語文献講読	2・1学期	2			○				6	3				
	発展科目	グローバル社会と地域	2・1学期	2			○			3	3				共同 オムニバス オムニバス
		越境社会論	2・1学期	2			○			4	1				
		越境文化論	2・2学期	2			○			3	1				兼5
		社会心理学	2・2学期	2			○				1				
		国際関係論	3・1学期	2			○			1					兼1
		地域経済論	3・1学期	2			○				1				
		環境と社会	3・1学期	2			○			1					兼1
		社会ネットワーク論	3・1学期	2			○			1					
		男女共同参画の哲学	3・1学期	2			○								兼1
		言語・コミュニケーション論	3・1学期	2			○				1				
		外国語としての日本語	3・1学期	2			○				1				兼1
		世界経済論	3・1学期	2			○				1				
		消費者行動論	3・1学期	2			○					1			兼1
		ビジネス・シミュレーション	3・2学期	2			○			2					
		社会調査論	3・2学期	2			○					1			兼1
現代社会の哲学的課題		3・2学期	2			○			1						
環境経済学		3・1学期	2			○			1					兼1	
大衆文化論		3・2学期	2			○			1						
社会文化交流論		3・2学期	2			○			1					兼1	
異文化間コミュニケーション論		3・2学期	2			○					1				
グローバルヒストリー論		3・2学期	2			○				1				兼1	
南北アメリカ関係論		3・2学期	2			○				1					
ヨーロッパ社会文化論	3・2学期	2			○								兼1		
資料保存学	3・2学期	2			○										
近代社会論	3・2学期	2			○					1			兼1		
時代区分論	3・2学期	2			○										
文化人類学	3・2学期	2			○					1			兼1		
環境法	3・2学期	2			○					1					
小計(84科目)		—	4	164	0	—			22	23	7	0	0	兼24	
人文科学 コース 専門 選択 科目	卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ	4・通年	8			○			10	8	1			2ゼミナールⅠとして 科目選択必修	
	思想論基礎演習	2・1学期	1			○									兼1
	西洋哲学基礎演習	2・1学期	1			○									兼1
	心理学実験法基礎演習	2・1学期	1			○			1						兼1
	心理統計学基礎演習	2・1学期	1			○									
	心理学データ分析基礎演習	2・1学期	1			○									兼1
	心理学研究法基礎演習	2・1学期	1			○				1					
	東洋古代中世史基礎演習	2・1学期	1			○			1						兼1
	東洋近世近代史基礎演習	2・1学期	1			○									
	地理学基礎演習	2・1学期	1			○			1						

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 人文科学コース 専門選択科目	地域分析基礎演習	2・1学期		1			○								兼1 ゼミナールⅠとして 2科目選択必修 ゼミナールⅡとして 2科目選択必修 「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」をそれぞれ「ゼミナールⅢ」「ゼミナールⅣ」として履修
	日本古代文学基礎演習	2・1学期		1			○			1					
	日本語史基礎演習	2・1学期		1			○			1					
	言語意味論基礎演習	2・1学期		1			○								
	言語文法論基礎演習	2・1学期		1			○			1					
	イギリス文学基礎演習	2・1学期		1			○			1					
	アメリカ文学基礎演習	2・1学期		1			○			1					
	倫理学基礎演習	2・2学期		1			○			1					
	宗教論基礎演習	2・2学期		1			○			1					
	考古学基礎演習	2・2学期		1			○				1				
	日本中世史基礎演習	2・2学期		1			○			1			1		
	日本近世史基礎演習	2・2学期		1			○			1					
	日本近代史基礎演習	2・2学期		1			○			1					
	西洋社会史基礎演習	2・2学期		1			○				1				
	現代日本語論基礎演習	2・2学期		1			○			1					
	日本中世文学基礎演習	2・2学期		1			○			1			1		
	日本近代文学基礎演習	2・2学期		1			○				1				
	西洋近代思想演習Ⅰ	3・1学期		2			○								
	西洋近代思想演習Ⅱ	3・2学期		2			○								
	倫理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	倫理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
	宗教論演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	宗教論演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
	認知発達心理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○								
	認知発達心理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○								
	認知心理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	認知心理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
	社会心理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○				1				
	社会心理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○				1				
	感情心理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○				1				
	感情心理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○				1				
	日本中世史演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	日本中世史演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
	日本近世史演習Ⅰ	3・1学期		2			○								
	日本近世史演習Ⅱ	3・2学期		2			○								
	日本近代史演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	日本近代史演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
	東洋古代中世史演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	東洋古代中世史演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
	東洋近世近代史演習Ⅰ	3・1学期		2			○								
	東洋近世近代史演習Ⅱ	3・2学期		2			○								
	西洋社会史演習Ⅰ	3・1学期		2			○				1				
	西洋社会史演習Ⅱ	3・2学期		2			○				1				
	人文地理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○				1				
	人文地理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○				1				
	自然地理学演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1					
	自然地理学演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1					
考古学演習Ⅰ	3・1学期		2			○					1				
考古学演習Ⅱ	3・2学期		2			○					1				
現代日本語論演習Ⅰ	3・1学期		2			○						1			
現代日本語論演習Ⅱ	3・2学期		2			○						1			
日本語史演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1						
日本語史演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1						
日本古代文学演習Ⅰ	3・1学期		2			○				1					
日本古代文学演習Ⅱ	3・2学期		2			○				1					
日本中世文学演習Ⅰ	3・1学期		2			○			1						
日本中世文学演習Ⅱ	3・2学期		2			○			1						
日本近代文学演習Ⅰ	3・1学期		2			○				1					

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	人文科学コース 専門選択科目	日本通史Ⅰ		2		○									兼1
		日本通史Ⅱ	3・2学期	2		○									兼1
		日本史学分野史	2・1学期	2		○									兼1
		東洋古代中世史Ⅰ	3・1学期	2		○				1					
		東洋古代中世史Ⅱ	3・2学期	2		○				1					
		東洋近世近代史	3・2学期	2		○									兼1
		東洋史学の現在	2・2学期	2		○									兼1
		アジア文化史Ⅰ	3・1学期	2		○									兼1
		アジア文化史Ⅱ	3・2学期	2		○				1					
		西洋社会史Ⅰ	3・1学期	2		○					1				
		西洋社会史Ⅱ	3・2学期	2		○					1				
		西洋文化史Ⅰ	3・1学期	2		○					1				
		西洋文化史Ⅱ	3・2学期	2		○					1				
		西洋史学の現在	2・1学期	2		○					1				
		アジア/ヨーロッパ通史Ⅰ	3・1学期	2		○									兼1
		アジア/ヨーロッパ通史Ⅱ	3・2学期	2		○									兼1
		日本近世近代史料講読Ⅰ	3・1学期	2		○									兼1
		日本近世近代史料講読Ⅱ	3・2学期	2		○									兼1
		考古学Ⅰ	3・1学期	2		○							1		
		考古学Ⅱ	3・2学期	2		○							1		
		考古学資料資源論	3・2学期	2		○							1		
		人文地理学Ⅰ	3・1学期	2		○					1				
		人文地理学Ⅱ	3・2学期	2		○					1				
		風土と文化	2・1学期	2		○				1					
		地域調査実習Ⅰ	2・1学期	2					○	1					
		地域調査実習Ⅱ	2・2学期	2					○		1				
		地域調査実習Ⅲ	3・1学期	2					○	1					
		地域調査実習Ⅳ	3・2学期	2					○		1				
		考古学実習Ⅰ	2・2学期	2					○				1		
		考古学実習Ⅱ	3・1学期	2					○				1		
		考古学実習Ⅲ	3・2学期	2					○				1		
		考古学実習Ⅳ	3・2学期	2					○				1		
		人文地理文献講読	3・1学期	2				○			1				
		自然地理文献講読	3・1学期	2				○		1					
		考古学分野史Ⅰ	2・2学期	2			○								兼1
		考古学分野史Ⅱ	3・1学期	2			○								兼1
		考古学分野史Ⅲ	3・2学期	2			○								兼1
		地誌学	2・1学期	2			○			1					
		日本近代文学論Ⅰ	2・2学期	2			○				1				
		日本近代文学論Ⅱ	3・1学期	2			○				1				
		日本近代文学論Ⅲ	3・2学期	2			○				1				
		現代日本語論Ⅰ	2・2学期	2			○								兼1
		現代日本語論Ⅱ	3・1学期	2			○								兼1
		現代日本語論Ⅲ	3・2学期	2			○								兼1
		日本語調査実習Ⅰ	2・2学期	2					○						兼1
日本語調査実習Ⅱ	3・1学期	2					○						兼1		
日本古代中世文学史	2・1学期	2			○				1						
日本近世近代文学史	2・2学期	2			○				1						
日本語史Ⅰ	2・2学期	2			○			1							
日本語史Ⅱ	3・1学期	2			○			1							
日本語史Ⅲ	3・2学期	2			○			1							
日本文学論Ⅰ	2・2学期	2			○			1							
日本文学論Ⅱ	3・1学期	2			○				1						
日本文学論Ⅲ	3・2学期	2			○				1						
日本古典文学論Ⅰ	2・2学期	2			○			1							
日本古典文学論Ⅱ	3・1学期	2			○			1							
日本古典文学論Ⅲ	3・2学期	2			○			1							
日本文学史論Ⅰ	2・2学期	2			○				1						

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文科学 コース 専門 選択 科目	日本文学史論Ⅱ	3・1学期		2		○				1						
	日本文学史論Ⅲ	3・2学期		2		○				1						
	日本語論Ⅰ	2・2学期		2		○				1						
	日本語論Ⅱ	3・1学期		2		○				1						
	日本語論Ⅲ	3・2学期		2		○				1						
	日本語日本文学の現在	2・2学期		2		○				1						
	日本古典文学講読Ⅰ	2・2学期		2			○			1						
	日本古典文学講読Ⅱ	3・1学期		2			○			1						
	日本古典文学講読Ⅲ	3・2学期		2			○			1						
	日本近代文学講読Ⅰ	2・2学期		2			○				1					
	日本近代文学講読Ⅱ	3・1学期		2			○				1					
	日本近代文学講読Ⅲ	3・2学期		2			○				1					
	書道Ⅰ	3・1学期		2				○								兼1
	書道Ⅱ	3・2学期		2				○								兼1
	英語史概論Ⅰ	3・1学期		2			○				1					
	英語史概論Ⅱ	3・2学期		2			○				1					
	言語意味論Ⅰ	3・1学期		2			○									兼1
	言語意味論Ⅱ	3・2学期		2			○									兼1
	言語文法論Ⅰ	3・1学期		2			○				1					
	言語文法論Ⅱ	3・2学期		2			○				1					
	イギリス文学論Ⅰ	2・1学期		2			○				1					
	イギリス文学論Ⅱ	2・2学期		2			○				1					
	アメリカ文学論Ⅰ	3・1学期		2			○				1					
	アメリカ文学論Ⅱ	3・2学期		2			○				1					
	英語圏文化論	2・1学期		2			○				1					
	映像メディア論	2・2学期		2			○				1					
英米文化史	3・1学期		2			○				1						
小計 (211科目)		—	8	394	0	—	—	—	10	9	1	0	0	兼22		
専門 科目	ゼミナールⅠ	2・1学期	2				○			9	10	1				
	ゼミナールⅡ	2・2学期	2				○			9	10	1				
	ゼミナールⅢ	3・1学期	2				○			9	10	1				
	ゼミナールⅣ	3・2学期	2				○			9	10	1				
	卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ	4・通年	8				○			9	10	1				
	応用言語学	3・1学期		2			○								兼1	集中
	音声学	3・1学期		2			○								兼1	集中
	社会言語学	3・1学期		2			○								兼1	集中
	第二言語習得論	3・1学期		2			○				1					
	アジア・アフリカ言語文化論	3・1学期		2			○				1					
	アジア・アフリカ言語文化論演習	3・2学期		2			○				1					
	異文化間コミュニケーション論演習	3・1学期		2				○				1				
	英語音声学	3・2学期		2				○					1			兼1
	英語音声学演習	3・1学期		2				○						1		兼1
	音声学演習	3・1学期		2				○							1	兼1
	言語・コミュニケーション論演習	3・2学期		2				○				1				
	第二言語習得論基礎論	3・1学期		2				○				1				
	第二言語習得論基礎論演習	3・2学期		2				○				1				
	第二言語習得論演習	3・1学期		2				○				1				
	ドイツ言語文化論	3・2学期		2				○			1					
	ドイツ言語文化論演習	3・1学期		2				○			1					
	日欧異文化間コミュニケーション論	3・1学期		2				○				1				
	日欧異文化間コミュニケーション論演習	3・2学期		2				○				1				
	日米異文化間コミュニケーション論	3・1学期		2				○				1				
	日米異文化間コミュニケーション論演習	3・2学期		2				○				1				
	外国語としての日本語演習	3・2学期		2				○				1				
外国語としての日本語基礎論	3・1学期		2				○				1					
外国語としての日本語基礎論演習	3・2学期		2				○				1					
日本語学	3・2学期		2				○								兼1	
日本語教育論	3・1学期		2				○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	日本語教育論演習	3・2学期		2			○									兼1	
	日本語教材分析	3・2学期		2			○									兼1	
	日本語教授法	3・2学期		2			○									兼1	
	比較言語学	3・1学期		2			○									兼1	
	比較日欧文化論	3・2学期		2			○				1						
	比較日欧文化論演習	3・1学期		2				○			1						
	比較日米英文化論演習	3・2学期		2				○			1						
	比較文化論	3・2学期		2				○				1					
	比較文化論演習	3・1学期		2				○				1					
	ヨーロッパ社会文化論演習	3・1学期		2				○			1						
	アメリカ言語文化論演習	3・1学期		2				○			1						
	社会思想史	3・2学期		2				○			1						
	メディア論	3・2学期		2				○			1						
	アメリカ言語文化論	3・1学期		2				○			1						
	イギリス言語文化論	3・2学期		2				○				1					
	イギリス言語文化論演習	3・1学期		2					○			1					
	英米文化史	3・2学期		2				○				1					
	英米文化史演習	3・1学期		2					○			1					
	越境文化論演習	3・2学期		2					○		1						
	越境文化論特講	3・1学期		2					○		1						
	東南アジア社会文化論	3・2学期		2				○				1					
	東南アジア社会文化論演習	3・1学期		2					○			1					
	近代社会論演習	3・2学期		2					○			1					
	社会思想史演習	3・2学期		2					○			1					
	社会文化交流論演習	3・1学期		2					○		1						
	大衆文化論演習	3・2学期		2					○		1						
	ドイツ語メディア論演習	3・2学期		2					○			1					
	日本事情と伝統文化	3・2学期		2				○								兼1	
	日本社会論	3・2学期		2				○								兼1	
	日本文化表現論	3・1学期		2				○			1						
	比較日本社会文化論	3・2学期		2				○			1						
	比較日本社会文化論演習	3・1学期		2					○		1						
	比較日米英文化論	3・1学期		2				○			1						
	比較日独文化論	3・2学期		2				○				1					
	比較日中文化論	3・1学期		2				○								兼1	
	比較日仏文化論	3・1学期		2				○								兼1	
	比較日仏文化論演習	3・2学期		2					○							兼1	
	フランス言語文化論	3・1学期		2				○								兼1	
	フランス言語文化論演習	3・2学期		2					○							兼1	
	文化人類学演習	3・2学期		2					○		1						
	比較経済社会論	3・2学期		2				○								兼1	
	アジア・オセアニア特殊講義	3・2学期		2				○								兼1	
	アジア経済社会論	3・1学期		2				○			1						
	アジア経済社会論演習	3・2学期		2					○		1						
	越境社会論演習	3・2学期		2					○			2					
越境社会論特講	3・1学期		2				○			1							
グローバル社会特殊講義	3・2学期		2				○								兼1		
経済発展論	3・1学期		2				○				1						
経済発展論演習	3・2学期		2					○			1						
言語・コミュニケーション特殊講義	3・2学期		2				○				1						
国際協力論	3・1学期		2				○								兼1		
国際協力論演習	3・2学期		2					○							兼1		
国際関係論演習	3・2学期		2					○		1							
世界経済論演習	3・2学期		2					○			1						
総合文化特殊講義	3・2学期		2				○								兼1		
地域の産業と経済	3・2学期		2				○								兼1		
中国経済社会論	3・1学期		2				○				1						
中国経済社会論演習	3・2学期		2					○			1						

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
専 門 科 目	国 際 社 会 コ ー ス 専 門 選 択 科 目	南北アメリカ特殊講義		2		○										兼1		
		日本文化表現論演習	3・2学期	2			○			1								
		日本文化表現論基礎論	3・1学期	2			○			1								
		日本文化表現論基礎論演習	3・2学期	2				○		1								
		メディア論演習	3・2学期	2				○		1								
		ヨーロッパ・ロシア経済社会論	3・1学期	2				○			1							
		ヨーロッパ・ロシア経済社会論演習	3・2学期	2					○			1						
		ヨーロッパ特殊講義	3・2学期	2				○										兼1
		ラテンアメリカ経済社会論	3・1学期	2				○				1						
		ラテンアメリカ経済社会論演習	3・2学期	2					○				1					
		南北アメリカ関係論演習	3・2学期	2					○									兼1
		社会ネットワーク論演習	3・2学期	2					○		1							
		英語オーラルコミュニケーションⅠ	2・1学期	2					○				1					
		英語オーラルコミュニケーションⅡ	2・2学期	2					○					1				
		英語オーラルコミュニケーション上級	3・1学期	2					○					1				
		英語オーラルコミュニケーション中級	3・2学期	2					○					1				
		英語テキスト構成研究Ⅰ	2・1学期	2					○						1			
		英語テキスト構成研究Ⅱ	2・2学期	2					○						1			
		英語テキスト構成研究中級	3・1学期	2					○						1			
		英語テキスト構成研究上級	3・2学期	2					○			1						
		英語読解研究	3・1学期	2					○			1						
		英語読解研究演習	3・2学期	2					○				1					
		英語パブリックコミュニケーションⅠ	2・1学期	2					○				1					
		英語パブリックコミュニケーションⅡ	2・2学期	2					○					1				
		英語パブリックコミュニケーション中級	3・1学期	2					○					1				
		英語パブリックコミュニケーション上級	3・2学期	2					○					1				
		英語ビジネスコミュニケーション	3・1学期	2					○									兼1
		貿易英語	3・1学期	2					○									兼1
		ドイツ語オーラルコミュニケーションⅠ	2・1学期	2					○					1				
		ドイツ語オーラルコミュニケーションⅡ	2・2学期	2					○						1			
		ドイツ語オーラルコミュニケーション中級	3・1学期	2					○						1			
		ドイツ語オーラルコミュニケーション上級	3・2学期	2					○						1			
		ドイツ語読解研究	3・1学期	2					○									兼1
		ドイツ語読解研究演習	3・2学期	2					○									兼1
		フランス語オーラルコミュニケーションⅠ	3・1学期	2					○									兼1
		フランス語オーラルコミュニケーションⅡ	3・2学期	2					○									兼1
		フランス語読解研究	3・1学期	2					○									兼1
		フランス語読解研究演習	3・2学期	2					○									兼1
		現代日本語読解研究	3・1学期	2					○									兼1
		現代日本語読解研究演習	3・2学期	2					○									兼1
		現代日本語読解研究中級	3・2学期	2					○									兼1
		中国言語文化論	3・1学期	2					○									兼1
		中国言語文化論演習	3・2学期	2						○								兼1
		中国語オーラルコミュニケーションⅠ	3・1学期	2						○		1						
		中国語オーラルコミュニケーションⅡ	3・2学期	2							○	1						
中国語読解研究	3・1学期	2					○			1								
中国語読解研究演習	3・2学期	2						○		1								
現代中国社会文化論	3・1学期	2					○			1								
現代中国社会文化論演習	3・2学期	2					○			1								
中国古典文学論基礎論	3・1学期	2					○									兼1		
中国古典文学論	3・2学期	2					○									兼1		
日本語オーラルコミュニケーション中級	3・1学期	2						○								兼1		
日本語オーラルコミュニケーション上級	3・2学期	2						○								兼1		
日本語特別演習Ⅰ	3・1学期	2						○								兼1		
日本語特別演習Ⅱ	3・2学期	2						○								兼1		
日本語メディア論	3・1学期	2					○									兼1		
日本語メディア論演習	3・2学期	2						○								兼1		
国際社会総合ゼミナール	3・2学期	2					○									兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手				
国際社会 コース 専門 選択 科目	経営学特殊講義	3・1学期		2		○										兼1	
	法学特殊講義	3・1学期		2		○										兼1	
	会計学特殊講義	3・1学期		2		○										兼1	
	国際社会実習(スタディ・ツアー)Ⅰ	3・1学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(スタディ・ツアー)Ⅱ	3・2学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(外国語実習)Ⅰ	3・1学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(外国語実習)Ⅱ	3・2学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(国内調査実習)Ⅰ	3・1学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(国内調査実習)Ⅱ	3・2学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(海外調査実習)Ⅰ	3・1学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(海外調査実習)Ⅱ	3・2学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(フィールド・リサーチ)Ⅰ	2・1学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(フィールド・リサーチ)Ⅱ	2・2学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(フィールド・リサーチ)Ⅲ	3・1学期		2				○	1	1							
	国際社会実習(フィールド・リサーチ)Ⅳ	3・2学期		2				○	1	1							
	社会文化調査論	2・1学期		2			○		1	1							
	社会文化調査論演習	2・2学期		2				○	1	1							
小計(163科目)	—	—	16	316	0	—	—	9	11	3	0	0			兼39		
専門 科目	ゼミナールⅠ(社会制度設計演習Ⅰ)	2・1学期	2				○		6	8	7						
	ゼミナールⅡ(社会制度設計演習Ⅱ)	2・2学期	2				○		6	8	7						
	ゼミナールⅢ(専門演習Ⅰ)	3・1学期	2				○		6	8	7						
	ゼミナールⅣ(専門演習Ⅱ)	3・2学期	2				○		6	8	7						
	卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ(卒業論文・専門演習Ⅲ・Ⅳ)	4・通年	8				○		6	8	7						
	社会科学 コース 専門 選択 科目	第Ⅰ群 (経済 理論)	ミクロ経済学Ⅱ	2・1学期	2			○				1					
			マクロ経済学	2・2学期	2			○				1					
			産業組織論Ⅰ	3・1学期	2			○				1					
			産業組織論Ⅱ	3・2学期	2			○				1					
			組織の経済学	3・1学期	2			○				1					
			ゲーム理論Ⅰ	2・1学期	2			○				1					
			ゲーム理論Ⅱ	2・2学期	2			○				1					
			労働経済論	3・1学期	2			○				1					
			金融論	2・1学期	2			○				1					
			国際金融論	2・2学期	2			○				1					
			経済史	2・2学期	2			○									兼1
			日本経済史	3・1学期	2			○									兼1
			経済発展論	3・1学期	2			○				1					
			自然資源の経済学	3・2学期	2			○			1						
			経済理論基礎演習	2・2学期	2				○		1		5				
経済理論特殊講義	3・1学期	2				○								兼1			
集中																	
社会科学 コース 専門 選択 科目	第Ⅱ群 (経済 政策)	資本主義システム論	2・1学期	2			○									兼1	
		財政学	2・1学期	2			○				1						
		地方財政論	2・2学期	2			○				1						
		福祉経済論Ⅰ	2・1学期	2			○				1						
		福祉経済論Ⅱ	2・2学期	2			○				1						
		社会保障論	3・1学期	2			○				1						
		産業立地論	3・2学期	2			○				1						
		日本経済論	3・2学期	2			○				1						
		農業経済論	3・2学期	2			○			1							
		地域社会学	2・2学期	2			○				1						
		地域水産振興論	3・1学期	2			○					1					
		国際経済論	2・1学期	2			○						1			兼1	
		国際水産開発論	2・2学期	2			○					1					
		中国経済社会論	3・1学期	2			○				1						
		アジア経済社会論	3・1学期	2			○			1							
ラテンアメリカ経済社会論	3・1学期	2			○				1								
ヨーロッパ・ロシア経済社会論	3・2学期	2			○				1								
経済政策基礎演習	2・2学期	2				○		1	4	2							
経済政策特殊講義	3・1学期	2				○								兼1			
集中																	

教 育 課 程 等 の 概 要

(人文社会科学部人文社会科学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手					
専 門 科 目	第 III 群 (経 営・ 会 計)	経営管理論	2・1学期		2		○			1							兼1 兼1	
		人事管理論	2・2学期		2		○			1								
		比較経営論	3・1学期		2		○			1								
		競争戦略論	2・1学期		2		○				1							
		企業システム論	3・2学期		2		○				1							
		マーケティング論	2・2学期		2		○											
		流通論	3・2学期		2		○											
		国際経営論	3・2学期		2		○				1							
		会計学原理	2・1学期		2		○				1							
		財務諸表分析	3・1学期		2		○				1							
		原価計算論	3・2学期		2		○				1							
		簿記原理Ⅰ	2・1学期		2		○				1							
		簿記原理Ⅱ	2・2学期		2		○				1							
	会計制度論	3・1学期		2		○				1								
	経営史	3・2学期		2		○									兼1			
	経営学基礎演習	2・2学期		2				○		2	1	2						
	会計学基礎演習	2・2学期		2				○		2								
	経営学特殊講義	3・1学期		2			○								兼1			
	会計学特殊講義	3・1学期		2			○								兼1			
	第 IV 群 (法 律・ 政 治)	民法Ⅱ	2・1学期		2		○			1							兼1 兼1 兼1	
		民法Ⅲ	3・1学期		2		○			1								
		商法Ⅰ	2・1学期		2		○				1							
		商法Ⅱ	2・2学期		2		○				1							
		商法Ⅲ	3・1学期		2		○				1							
		経済法Ⅰ	2・2学期		2		○											
		経済法Ⅱ	3・1学期		2		○											
		経済法Ⅲ	3・2学期		2		○											
		憲法Ⅱ	2・1学期		2		○					1						
		刑法Ⅰ	2・1学期		2		○					1						
		刑法Ⅱ	2・2学期		2		○					1						
		経済刑法	3・1学期		2		○					1						
		行政法Ⅰ	2・1学期		2		○						1					
		行政法Ⅱ	2・2学期		2		○						1					
		政治過程論	2・2学期		2		○						1					
	法律学基礎演習	2・2学期		2				○		1	2	1						
	政治学基礎演習	2・2学期		2				○				1						
法律学特殊講義	3・1学期		2			○								兼1				
政治学特殊講義	3・1学期		2			○								兼1				
第 V 群	ファイナンシャルプランニング	3・1学期		2		○									兼7	オムニバス		
	パーソナルファイナンス	3・1学期		2		○									兼7	オムニバス		
	マネー&税法入門	3・1学期		2		○									兼1			
	ビジネス英語Ⅰ	3・1学期		2		○									兼1	集中		
	ビジネス英語Ⅱ	3・2学期		2		○									兼1	集中		
	地域ジャーナリズム論	3・1学期		2		○									兼1	集中		
	地域ジャーナリズム実習	3・1学期		2				○							兼1	集中		
	職業指導概論(商業)	3・1学期		2			○								兼1			
損害保険の実務と法	3・2学期		2			○								兼1	オムニバス			
小計(87科目)		—	16	164	0		—		7	11	7	0	0	兼19				
合計(782科目)			—	56	1478	0	—		25	27	11	0	0	兼329				
学位又は称号	学士(文学)、学士(学術)、学士(経済学)		学位又は学科の分野				文学関係、経済学関係											

I 設置の趣旨・必要性

1. 社会的要請への対応

高知大学人文学部は、人文学と社会科学の複合学部として、平成10年度から「人間」「国際」「地域」をキーワードとする3学科にコースを設置するとともに、少人数教育を基礎に卒業論文を到達点とする体系的な教育課程を編成し、できる限り、学科間の垣根を低くして他学科の授業選択を促進させ、幅広い教養に基づく柔軟な思考力を身につけさせることで、社会で広く活躍できる人材を輩出してきた。

しかしながら、改組から20年近く経過した今日にあって、グローバル化の進展による社会の変容の中で、国・地域間の軋轢の解消に向けた協力関係やグローバル経済下での地域の持続的再生産、コミュニティの自律性の維持等、これまでのような人文学、社会科学の個別分野だけでは解決が困難な問題が顕在化してきており、これらの課題に対して正面から向き合い、解決につなげていく人材が求められている。

また、人文学及び社会科学の学術動向の面では、グローバル化に伴う社会の流動性が更に激しくなる今日において、人間の心理的変化や文化的変容を社会科学的視点から理解する能力や、政治・経済情勢や社会構造・制度に対する分析を人間の思想・心理等人文科学的視点から理解する能力の重要性が認識されてきている。

さらに、本学部が所在する高知県は、他県に先んじて人口減・高齢化・産業の脆弱化・地域文化の消失の危機にある中で、「第2期高知県産業振興計画」を策定して大都市圏とは異なる経済的・社会的・文化的な自律性の維持に向けた具体的な取組を展開している。このような「課題先進県」に所在し「地域活性化の中核的拠点」として「地域の大学」を目指す本学としては、人文学及び社会科学の視点から、国内外だけでなく「地域」にも貢献できる人材を輩出することが必要である。特に人文学と社会科学の個別専門分野を越え、人文学と社会科学を架橋する柔軟な発想力とそれを培う「人文社会科学（領域）」の幅広い教養を具える人材を育成することが求められている。

このような人材を育成するには、3学科体制の学部教育では限界があるため、このたび学科の「垣根」自体を取り崩して、新たな理念「人文社会科学（領域）の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織（1学科体制）の下、新たに「プラットフォーム科目」を置き、人文学・社会科学両分野の知識の連結を図りながら「人文社会科学（領域）」の教養を軸としたグローバルかつローカルな課題解決に貢献する人材の養成に取り組む。特に、「人文社会科学（領域）」をめぐる新たな教育を展開するため、ゼミナールによるきめ細かい履修指導とそれを支える教員のFD活動及び学生の「ポートフォリオ」による学習成果の確認を徹底する。

2. 養成する人材像

○人文社会科学科

経済・社会・文化が一国の枠を越えて一段と結び合う一方、その急激な展開が、個々の地域で又個別の組織・集団の間で摩擦を生み、それをのりこえる新たな必要性に直面している。このような課題に対応するため、人文社会科学各分野の専門的知識と、それと関連する諸分野に関する学際的教養をそなえて、グローバルかつローカルな課題の把握・解決のために貢献できる人材を養成する。

①人文学コース

「人文社会科学（領域）」と関連づけて、人文学の各専門分野における深い問題意識や探求心を持ち、それによって地域社会の文化（思想、歴史、地理、文学等）の保持・保存・発展に貢献できる人材を養成する。

②国際社会コース

「人文社会科学（領域）」と関連づけて、多面的な社会・文化のあり方に対して複数の価値があることを理解し、それに基づく主体的な複眼的な思考力・判断力によって、グローバル社会で国境を越えて連携できる人材を養成する。

③社会科学コース

「人文社会科学（領域）」と関連づけて、金融システム、組織のガバナンス、市場・政府の管理・規制等のしくみなど現行の社会制度及び在るべき社会制度設計の考え方を理解し、問題解決のための制度の改善、新たな制度の設計を自律的に考える人材を養成する。

こうした人材の育成には、学部・コースのディプロマポリシー（学位授与の方針）が不可欠である。

【ディプロマポリシー】

○人文社会科学科

〔知識・理解〕グローバル社会と地域に関する人文社会科学の幅広い教養、複眼的な分析・考察に必要な言語・文化・社会、社会制度の基本的な構造に関する専門知識を身につけ、活用できる。

〔思考・判断〕人文社会科学諸分野の領域横断的思考を身につけて、個々の専門分野の成果と課題を批判的に考察する一方、現実起こっている様々な社会問題の基本的な構造を理解し、主体的な判断力を身につけて、活用できる。

〔関心・意欲・態度〕地域文化や地域社会の過去・現在・将来のグローバル或はローカルな課題に多様な観点からの学問的知見を積極的に用いて、社会全般に還元する態度を身につけ、実践する。

〔技法・表現〕文献資料・データの分析法、外国語の運用能力、多様なメディアによる表現能力、社会科学の調査・研究手法を駆使することにより、学修・研究の成果を、グローバルかつローカルな課題の解決のために発信することができる。

①人文学コース

〔知識・理解〕哲学、心理学、歴史学、地理学、文学等に関する専門知識を身につけ、時代や地域に固有の文化や、時代や地域を越えた普遍的な人間の特性を比較検討しながら理解することができる。

〔思考・判断〕哲学、心理学、歴史学、地理学、文学等の人文科学の成果と課題を批判的に考察する思考力を身につけ、活用できる。

〔関心・意欲・態度〕地域文化や地域社会の過去・現在・将来のグローバル或はローカルな課題の解決に取り組む態度を身につけ、実践する。

〔技法・表現〕文献資料・データの分析法、レポート・卒業論文の作成法、資料保存法等の専門知識に裏付けられた研究方法を駆使して、地域文化や地域社会に関する学修・研究の成果を発信することができる。

②国際社会コース

〔知識・理解〕多文化・複合化するグローバル社会の諸相に対応するのに必要十分な、言語・文化・社会に関する専門的知識を身につけ、その知識を局所的なマイクロレベルから全体的なマクロレベルに至る連続体として理解し、活用できる。

〔思考・判断〕多元的価値に基づく複合体としての文化・社会における言語・文化・社会への深い洞察力と人文社会科学の領域横断的・複眼的な思考力を涵養し、グローバル社会における諸問題を批判的に考察し、主体的に判断する力を身につけ、活用できる。

〔関心・意欲・態度〕グローバル社会における諸問題に関心を持ち、局所的なマイクロレベルから全体的なマクロレベルに至る多様な視座から比較検討することで課題解決を実践する態度を身につけ、活用できる。

〔技法・表現〕外国語の運用能力を身につけ、異文化および自文化への理解を深め、人文社会科学の領域横断的な思考を通じて獲得した成果や意義を、口頭・文章あるいは多様なメディアによって表現する能力を身につけ、活用できる。

③社会科学コース

〔知識・理解〕経済学とその他経営学・会計学・法学・政治学・社会学を幅広く学び、かつ特定分野を段階的に集中して学び、当該分野の専門性を身につける。社会制度の基本的な構造を多角的に検討し、理解することができる。

〔思考・判断〕現実に起こっている様々な社会問題の基本的な構造を理解し、必要な知識・技能を動員して課題解決に取り組むことができる。

〔関心・意欲・態度〕学問に対して真摯に取り組み、体系的に理解して、得られた知識を個人のためのみに利用するのではなく、周囲と協力し、社会全般に還元する態度を身につけ、活用できる。

〔技法・表現〕情報解析のツール、コミュニケーション能力に加えて、社会科学で用いる研究手法を身につけ、研究を通じて得た成果を社会に広く示すことができる。

Ⅱ 教育課程の編成の考え方・特色

ディプロマポリシーを実現し、上記人材を養成するための本学部の学士課程教育全体を通じた教育課程及び科目区分の編成（合計124単位）並びに教育課程編成上の特色は以下の通りである。（参考資料1）

【共通教育】（40単位）

（ア）初年次科目（12単位）

「学びの転換・キャリア形成」、「基礎的スキル」、「学問への動機付け」を柱に、入学後すぐに学びの転換を図り、自分で考え行動できる力、他者とコミュニケーションできる力、表現できる力を修得するための科目である。

○必修科目：「大学基礎論」、「学問基礎論」、「課題探求実践セミナー」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」

（イ）教養科目（28単位）

現代人として必要な基礎教養、外国語能力の基礎を身につけるとともに、大学生活を営む高知の文化、社会、自然環境の特徴について学ぶ科目であり、主に1～2年次で履修する。

○選択科目例：「対人コミュニケーション論を学ぶ」、「子供の発達と生活」、「アルコール学概論」、「TOEIC英語」、「中国語Ⅰ」、「四国の歴史と文化」、「土佐の自然と農業」など

【専門教育】（84単位）

（ア）必修科目（16単位）

2年次以降、本学部における学びをより効果的に促すとともに、「人文社会科学プラットフォーム科目」、「専門選択科目」等で修得した知識を関係づけることを目的とする「ゼミナール科目」と、本学部において育成する学士像の到達点としての「卒業論文」により構成される。

（イ）人文社会科学プラットフォーム科目（30単位）

人文科学と社会科学を架橋する「人文社会科学（領域）」の教養（学部共通で身につける）を修得するための科目である。（詳細は【特色①】参照。）

（ウ）専門選択科目（38単位）

各コースにおけるディプロマ・ポリシーや学位（学士（文学）、学士（学術）、学士（経済学））に対応した専門的知識を修得するための科目である。（詳細は【特色②】参照）

【特色①】「人文社会科学プラットフォーム科目」の設定

本学部が育成しようとする現在求められているグローバルかつローカルな課題に取り組む人材の育成のためには、従来型の「人文科学や社会科学の個別的専門教養」だけでは不十分である。そのため人文社会科学部においては、教育課程の基軸に両分野を架橋する「人文社会科学（領域）」の科目群として学部共通科目「プラットフォーム科目」を配置する。「プラットフォーム科目」は、現代社会の多様で錯綜した課題を対象とし学界の先進的動向も視野に入れて学ぶ中心的科目「発展科目」、その「発展科目」の学びを理論、外国語両系統より導く基盤的科目「基礎科目」、「外国語科目」から構成される。学年進行に即していえば、学生は、「基礎科目」において「人文社会科学（領域）」の手法を学ぶための基礎的理論を（1～2年次履修）、「外国語科目」において海外の文献調査にも対応できる中級レベルの外国語能力を身につけ（2年次履修）、「発展科目」において、現代社会の多様で錯綜した課題を対象として、人文科学と社会科学双方の視点を盛り込みながら、学界の先進的動向も視野に入れて学ぶことで（3年次履修、一部2年次履修）人文社会科学諸分野の領域横断的思考を身につける。

（「基礎科目」について、必修科目2単位のほか、人文科学分野（A群）と社会科学分野（B群）の中から、それぞれ最低2単位を含む計6単位以上、「基礎科目」と「外国語科目」を合わせて10単位以上修得。かつ「発展科目」8単位以上（必修2単位を含む）を履修し、「人文社会科学プラットフォーム科目」合計30単位を修得する。）

《発展科目》（3年次履修、一部2年次履修）

現代社会の多様で錯綜した課題を対象として、人文科学と社会科学双方の視点を盛り込みながら、学界の先進的動向も視野に入れて学ぶ科目であり、学科共通のディプロマ・ポリシーの「思考・判断」「関心・意欲・態度」と関連する科目である。現実に起こっている社会問題の基本的構造の理解や、様々な課題に対する学問的知見の積極的活用のために必要とされる人文社会科学諸分野の領域横断的思考を身につけることができる。

○必修科目「グローバル社会と地域」（2年次第1学期 2単位）

発展科目全体の総合的な科目であり、発展科目履修のオリエンテーション科目でもある。専門分野を異にする複数の教員が共同方式で開講し、哲学、歴史学、経済学、言語学等の多様な観点を総合するとともにグローバル社会と地域の関係と課題解決のための知識を習得することで、他の発展科目及びコース専門科目の履修の基礎を形成する。授業方法は講義と演習及びグループワークを組み合わせて理解を深める。

○選択科目

「人文社会科学（領域）」的手法の先進的成果を学びながら21世紀社会の課題のあり方を理解し、その解決へつなげるための手掛かりを学ぶものとして、以下の科目を配置する。

「越境社会論」、「越境文化論」、「社会心理学」
「国際関係論」、「地域経済論」、「環境と社会」、「社会ネットワーク論」、「男女共同参画の哲学」、「言語・コミュニケーション論」、「外国語としての日本語」
「世界経済論」、「消費者行動論」、「ビジネス・シミュレーション」、「社会調査論」
「現代社会の哲学的課題」、「環境経済学」、「大衆文化論」、「社会文化交流論」、「異文化間コミュニケーション論」、「グローバルヒストリー論」、「南北アメリカ関係論」、「ヨーロッパ社会文化論」、「資料保存学」
「近代社会論」、「時代区分論」、「文化人類学」、「環境法」以上全27科目
（人文科学・社会科学に亘る幅広い履修を行うようゼミナールを通じ、「ポートフォリオ」を活用した履修指導を行う。）

【基礎科目】（1～2年次履修）

学科共通のディプロマ・ポリシーの「知識・理解」「技法・表現」に関連する科目で、現代のグローバル社会、地域社会の特徴や形成課程を理解するために必要な人文科学と社会科学の幅広い教養や文献資料・データの分析法などを修得することができる。

○必修科目「リサーチリテラシー」（1年次第2学期 2単位）：

人文科学・社会科学の共通する基礎技法を身につけるために設置された学科共通科目である。他のプラットフォーム科目の内容を理解し社会の諸課題を検討する際に必要な調査・分析の基礎技能を養う。

○選択科目

「グローバル社会への視座」、「地域研究入門」、「国際社会研究入門」、「社会制度設計論」、「哲学概論Ⅰ」、「経済学概論」等42科目

（人文科学分野（A群）と社会科学分野（B群）の中から、それぞれ最低2単位を含む計6単位以上履修する。初年次科目（大学基礎論、学問基礎論）やゼミナールを通じ、「ポートフォリオ」を活用した履修指導を行う。）

【外国語科目】（2年次履修）

学科共通のディプロマ・ポリシーの「技法・表現」に関連する科目で、人文社会科学の学修・研究やその成果の発信の場面で必要とされる外国語運用能力（中級レベル）を身につけることができる。

○科目例

「専門英語Ⅰ・Ⅱ」、「ドイツ語中級Ⅰ・Ⅱ」、「中国語中級Ⅰ・Ⅱ」、「スペイン語中級Ⅰ・Ⅱ」、「外国語文献講読」等13科目

（ゼミナールを通じ、「ポートフォリオ」を活用した履修指導を行う。）

【特色②】 各コースの専門選択科目の履修による専門的知識の修得（2～3年次履修）

本学部では、人文社会科学の下に、「人文科学コース」、「国際社会コース」、「社会科学コース」を置き、それぞれのディプロマ・ポリシーや授与する学位（学士（文学）、学士（学術）、学士（経済学））に対応した専門選択科目を配置しており、学生は自身が所属するコースの科目を中心に履修する。

学生は、ゼミナール教員の指導を受けて、自身が所属するコースの科目を中心に履修を組み立て、加えて、自身の関心に基づく“学びのコア”を2年次からの専門選択科目の履修を通して形成する。

なお、学生の学びを進め、専門選択科目を組み立てていくための履修指導上の区分として、各コース内において1つのコアを形成することを「シングルコア」、2つのコアを形成することを「ダブルコア」と呼ぶ。（なお、各分野において本学部が定める科目のうちから12単位以上を修得した者に対しては、「プログラム」を修了したものとして、学部から「履修証明書」を授与する。）

コアを形成するため、各コースに設けられる履修指導上の区分は以下の通りである。

【人文科学コース】

哲学・思想：人文科学の成果と課題について人間の特性に関わって、哲学、倫理学、宗教学を重点的に学ぶ

心理学：人文科学の成果と課題について人間の特性に関わって、心理学を重点的に学ぶ

歴史・地理学：人文科学の成果と課題について地域文化の維持に関わって、歴史学、考古学、地理学を重点的に学ぶ

日本語・日本文学：人文科学の成果と課題について日本文化のあり方に関わって、日本語学、日本文学を重点的に学ぶ

英米文学：人文科学の成果と課題について英語圏の文学のあり方に関わって、英文学、米文学、言語学を重点的に学ぶ

【国際社会コース】

言語・コミュニケーション：言語やコミュニケーションの理論を重点的に学ぶ

総合文化：地域の文化、異文化的観点から見た文化、現代社会における文化を重点的に学ぶ

グローバル社会：グローバルな観点から、モノ・人・情報の動きや社会の有り様を重点的に学ぶ

ヨーロッパ地域：ヨーロッパ地域に絞って、その言語、文化、社会を多角的に学ぶ

南北アメリカ地域：南北アメリカ地域に絞って、その言語、文化、社会を多角的に学ぶ

アジア・オセアニア地域：アジアやオセアニア地域に絞って、その言語、文化、社会を多角的に学ぶ

【社会科学コース】

経済理論：市場における交換や取引などの人や組織の行動についての数理的な経済学理論を中心に学習し、社会における多様な経済現象を対象に、観察からモデルを構築し、検証し解明を試みる。

経済政策：財政・福祉など現実社会の経済的課題について応用経済学の領域を中心に学習し、社会的な問題を対象に、経済学的な分析を行い、解明を試みる。

経営・会計：人事・生産・販売活動のマネジメント、およびマーケティングや戦略、会計制度、簿記などの理論や実務を学習し、営利・非営利組織を対象に、経営上の課題の解明を試みる。

法律・政治：人や組織の経済行動に親和性の高い法学領域の理論を中心に学習し、社会的な問題を対象に、法学・政治学の理論から分析を行い、解明を試みる。

学生は、上述したような広範囲な分野を有する「人文社会科学（領域）」の中で、自身の志向・将来展望と本学部における専門的知識の学びを結びつけることが必要となってくる。

そこで、学生は、初年次科目の「大学基礎論」、「学問基礎論」や各年次配当の「ゼミナール」科目において、アドバイザー教員からレポート執筆・面談等の形式による履修指導を受けた上で、履修する科目を決定する。

履修指導に際し、アドバイザー教員は、「学習ポートフォリオ」を活用するとともに、単位の修得状況やGPAを確認して履修指導を行うことで、学生それぞれの志向・将来展望と、本学部における「人文社会科学（領域）の学び」や「各コースが提供する専門性」を結びつけるための効果的な指導・支援を行うことができる。

学生は、ゼミナールにおける教員の指導の下、「人文社会科学（領域）の学び」と「各コースが提供する専門」との関連性を自覚しつつ学びのコアを形成し、最終的に、卒業論文として結実させる。

【特色③】「ゼミナール」制による徹底した少数教教育、履修指導（参考資料2-1～2-6、3-1、3-2）

アドバイザー教員による「ゼミナール」により「人文社会科学（領域）」を基軸とする教育内容（プラットフォーム科目）と、学生の専門性への志向（コースにおける専門選択科目）とを教育課程の中で共存させ、学生の知識を効果的に連結させる。

1年次には初年次科目の「大学基礎論」、「学問基礎論」、「課題探究実践セミナー」で、2年次以降4年次までは「ゼミナールⅠ～Ⅵ」において、定期的に履修状況の確認・指導を行い、「人文社会科学プラットフォーム科目」と「専門選択科目」との関係性について、レポート・個人面談なども交えて指導する。

【特色④】「学習ポートフォリオ（My Portfolio）」の導入（参考資料3-1、3-2）

本学部では、学習ポートフォリオとして、「My Portfolio」を学部全体で導入する。「My Portfolio」は、1冊のバインダー形式で、1年次第1学期の授業科目の選択から卒業論文の執筆に至るまでの、①履修計画・履修状況、②授業における配布資料・成果物の保管、③大学における学習成果を振り返ることができる資料等を蓄積することができるものである。学生が「自分自身」の姿を確認する際に用いるとともに、アドバイザー教員が単独で、あるいは専門分野を異にする複数の教員が共同して、学生の到達度を把握し、履修指導をする際の基礎資料としても活用する。

【特色⑤】人文社会科学領域に対応した教育指導体制（FD等）の充実・強化（参考資料4）

本学部では、「人文社会科学（領域）の涵養」を基軸とした一体的な教育課程を編成することから、それに対応した教育指導体制の充実・強化を図るため、「人文社会科学科教務委員会」が中心となり、その直下に「FD部会」、「アドバイザー／ゼミナール部会」を設け、この3つの組織が改組の推進力の役割を果たす。

＜教員の「人文社会科学（領域）」の覚醒を促す2種類のFD＞

「人文社会科学（領域）」の涵養を基軸とした学部教育を実現するため教員各人の専門分野から「人文社会科学（領域）」にアプローチする手がかりと新しい教育方法を共有することにより、すべての分野の専任教員の意識向上を図る。

【新分野勉強会】（例：教授会日等を利用 月1回約60分 年およそ10回 約10時間研修）

- ・テーマ例：国内外の地域社会の諸動向を学ぶ：「人文社会科学（領域）」が取り組むべき問題の具体（人文科学、社会科学だけで解決できない問題とは何か）について知識・認識を共有する。
- ・従前の学部の実践に学ぶ：国際社会コミュニケーション学科が15年に及び進めてきている「越境」プロジェクト（3冊の教科書を発行）をはじめ、本趣旨に合う個々の実践（ジョイント授業等 資料参照）の試行内容を確認し、新規教育方法を共有する。

【20分の集い】（例：およそ8回（1ヶ月）×10回 20～40時間研修）

- ①学術の新潮流に学ぶ
個別に教員が歴史学、経済学及び複合領域等で起こっている「人文社会科学（領域）」に関わる話題を紹介し、自由に意見交換を行う。
- ②「人文社会科学（領域）」と自身の専門分野との接点を探る
教員が、学際を基本とする研究・教育の事例、専門コアとの関係性を追求する実践例などを紹介し、自由に意見交換を行う。

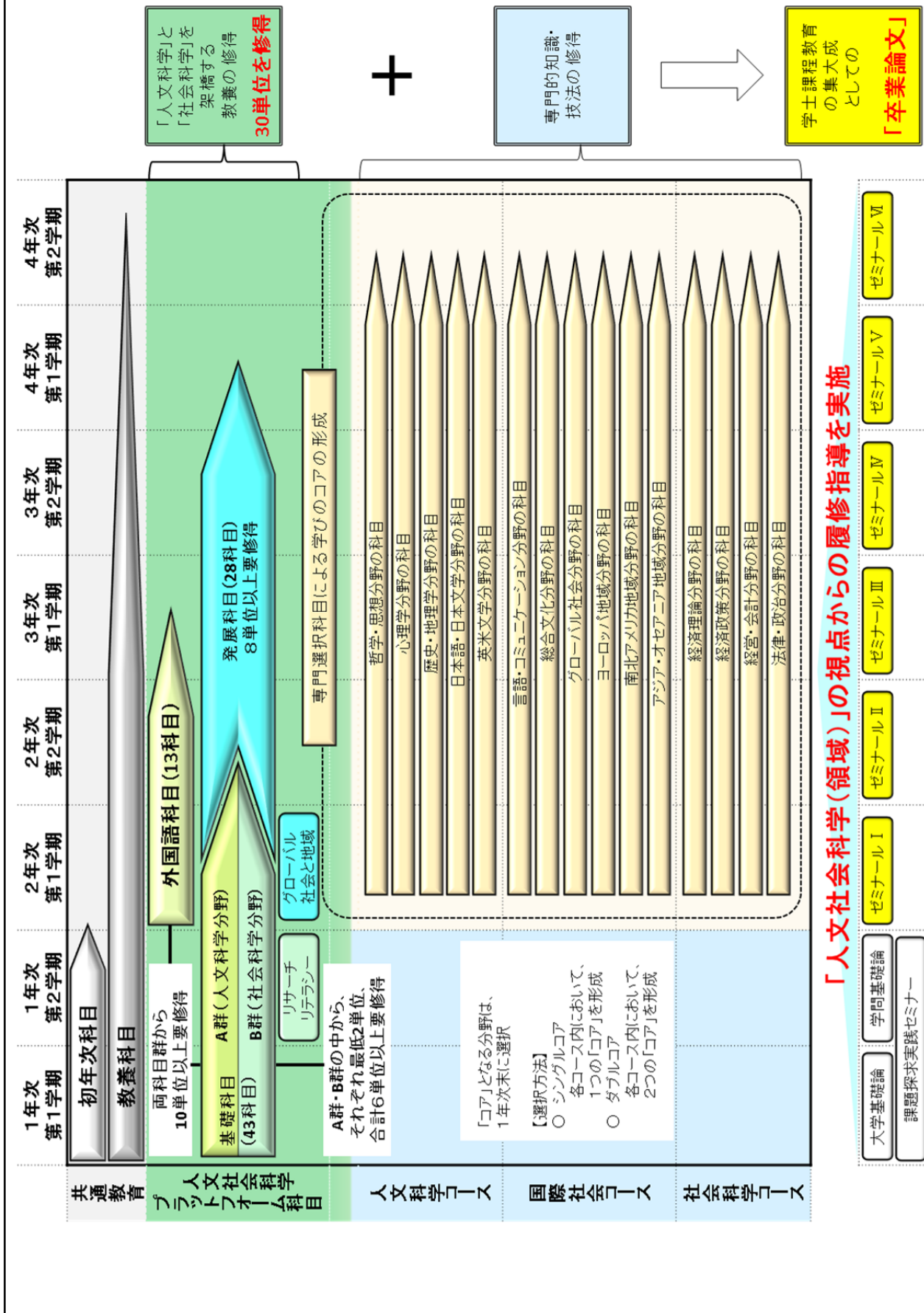
FDの成果は、人文社会科学科教務委員会が取り纏め、教材や授業形態としてモデル化し、全教員に共有する。

また、学部長の直下には「ステークホルダーとの協議会」（保護者、卒業生受入先企業・行政・教職関係、同窓会、大学運営経験者等により構成）を新設する。社会・地域のニーズを直接・具体的に把握することに努め、教育研究の成果の点検、社会・地域への還元方法等について協議し、その結果をFDに反映させる。

卒業要件及び履修方法	授業期間等
共通教育科目（40単位） ・初年次科目 12単位 「大学基礎論」、「学問基礎論」、 「課題探求実践セミナー」、「大学英語入門」、 「英会話」、「情報処理」の6科目（各2単位）が必修 ・教養科目 28単位 「人文分野」、「社会分野」、「生命・医療分野」、 「自然分野」、「外国語分野」、「キャリア形成支援分野」	

<p>に区分された中から下記の通り履修する。</p> <p>《外国語科目以外の科目（全コース共通）》 人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野の4分野のうち、3分野以上から履修。なお、卒業要件単位に含むことのできる単位数は、キャリア形成支援分野においては6単位、「スポーツ科学講義」、「スポーツ科学実技」については合計4単位を限度とする。</p>	1 学年の学期区分	2 学期
<p>《外国語科目（4単位）》 各コースの履修方法は以下の通り。なお、4単位を超えて修得した単位は、教養科目として履修する28単位に含むことができる。</p> <p>人文科学コース ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語（朝鮮語）及びスペイン語の中から1外国語4単位を履修</p> <p>国際社会コース ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語（朝鮮語）及びスペイン語の中から1外国語4単位を履修</p> <p>社会科学コース 英語以外の1外国語2単位を含み、合計4単位を履修</p> <p>専門科目（84単位） ・必修科目 16単位 《ゼミナール科目》 人文科学コース ・2年次第1学期配当の「基礎演習」2科目を「ゼミナールⅠ」として選択必修 ・2年次第2学期配当の「基礎演習」2科目を「ゼミナールⅡ」として選択必修 ・3年次第1学期配当の「演習Ⅰ」1科目を「ゼミナールⅢ」として選択必修 ・3年次第2学期配当の「演習Ⅱ」1科目を「ゼミナールⅣ」として選択必修 ・「卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ」が必修</p>	1 学期の授業期間	1 5 週
<p>国際社会コース 「ゼミナールⅠ」、「ゼミナールⅡ」、「ゼミナールⅢ」、「ゼミナールⅣ」、「卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ」が必修</p> <p>社会科学コース 「ゼミナールⅠ（社会制度設計演習Ⅰ）」、「ゼミナールⅡ（社会制度設計演習Ⅱ）」、「ゼミナールⅢ（専門演習Ⅰ）」、「ゼミナールⅣ（専門演習Ⅱ）」、「卒業論文・ゼミナールⅤ・Ⅵ（卒業論文・専門演習Ⅲ・Ⅳ）」が必修</p> <p>・人文社会科学プラットフォーム科目 30単位 「基礎科目」（A群（人文科学分野）とB群（社会科学分野）の中から、それぞれ最低2単位を含む6単位以上）、「外国語科目」の中から10単位以上うち「リサーチリテラシー」（2単位）が必修 「発展科目」から8単位以上 うち「グローバル社会と地域」（2単位）が必修</p> <p>・選択科目 38単位 各コースの専門選択科目のうちから履修する。</p> <p>要総修得単位数124単位 （履修科目の登録の上限：各学期22単位）</p>	1 時限の授業時間	9 0 分

参考資料1 カリキュラム概略図



参考資料2-1 人文科学コース履修モデル

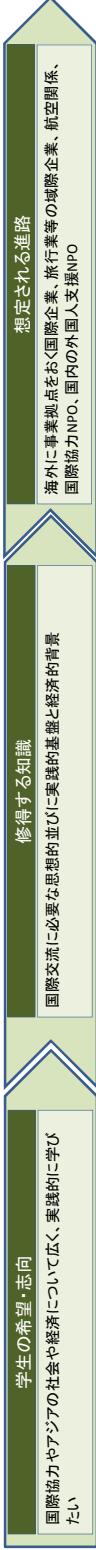


学年	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	
必修科目	卒業論文 学士課程教育の学びを完成する								
	ゼミナール科目 「人文社会科学領域」の観点から学生の学びを統合する	(大学基礎論②) (学問基礎論②)	ゼミナールⅠ②	ゼミナールⅡ②	ゼミナールⅢ②	ゼミナールⅣ②	ゼミナールⅤ②	卒業論文④ ゼミナールⅥ②	16単位
専門科目	フオーム科目 【本科目選択の考え方】 1・2年次に「新学」(東洋史)等の思想・歴史の基礎を学ぶとともに、専門分野に関わる中国語の能力を強化する。高学年次には、現代社会の課題を、人文社会科学(領域)の学際的手法に基づき、その時代性・思想面を踏まえて追究する発展科目を履修する。	【6群】グローバル社会への視座② 【6群】国際社会研究入門②	【A群】哲学概論Ⅰ② 【A群】東洋史概論Ⅰ② グローバル社会と地域② 中国語中級Ⅰ②	【A群】哲学概論Ⅱ② 【A群】東洋史概論Ⅱ② 中国語中級Ⅱ②	環境と社会② 言語・コミュニケーション論②	社会調査論② グローバルヒストリー論②			
	専門選択科目 【本科目選択の考え方】 「哲学・思想」、「歴史」、「地理」の分野をダブルコアとして履修する。中国文化について、今日的水準を反映した思想、宗教、及び歴史の分野の専門知識を習得する。それに基づいて、現在の中国文化並びにそれらに関する中国の課題を理解できるようにする。	哲学・思想分野 歴史・地理学分野 その他の選択科目	西洋哲学基礎論① 東洋近代史基礎演習① 風土と文化② 心理統計学基礎演習①	宗教学基礎演習① 基礎倫理学Ⅰ② 東洋近代史基礎演習Ⅱ② 地域調査実習Ⅱ② アジア文化Ⅰ② 人間科学Ⅰ②	宗教学基礎演習Ⅱ② 比較東洋思想論Ⅱ② 基礎倫理学Ⅱ② 東洋近世近代史演習Ⅱ② アジア・ヨーロッパ通史Ⅱ② 人間行動論Ⅱ②	宗教学演習Ⅱ② 比較東洋思想論Ⅱ② 基礎倫理学Ⅱ② 東洋近世近代史演習Ⅱ② アジア・ヨーロッパ通史Ⅱ② 人間行動論Ⅱ②			
教養科目	【本科目選択の考え方】 現代人として必要な基礎教養、英語及びそれ以外の外国語能力の基礎を身に付けるとともに、大学生活(修学、実生活)を営む高知の文化、社会、自然の特質について理解する。	対人コミュニケーション論② 市民社会論入門② 法を学ぶ② 子供の発達と生活② 森林と地球環境② TOEIC英語② 中国語Ⅰ②	5単位	9単位	12単位	12単位			
	心理学的な学び② 四国の歴史と文化② 経済を考える② TOEIC英語② 中国語Ⅰ②	10単位	10単位	2単位	0単位	0単位			
初年次科目	大学基礎論② 課題探究実践ゼミナー② 英会話② 情報処理②	学問基礎論② 大学英語入門②	3単位	18単位	21単位	19単位	18単位	4単位	124単位
			8単位	18単位	4単位	0単位	0単位	0単位	26単位

赤字は、必修科目

このモデルを取る学生への履修指導の観点
学生の希望に応じ、中国文化を体現する「思想」及びそれに関連する宗教、倫理と、「歴史」に関する知識を段階的に修得することを推奨する。そのため、「思想」と「歴史」をテーマとする2つの分野を履修するとともに、自身のテーマに関連する中国語の能力を共通教育の段階から培う。また、フオーム科目においては、「グローバル社会への視座」、「社会制度設計論」等の社会科学系の科目や「言語・コミュニケーション論」等の人文科学と社会科学の学際的領域の科目を履修することにより、人文科学の側面だけでなく社会科学の側面からも対象を考察することができる「人文社会科学(領域)」の知識・技法を修得する。

参考資料2-2 国際社会コース履修モデル



単科	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	
必修科目	卒業論文 学士課程教育の学びを完成する							卒業論文④	
	ゼミナール科目 「人文社会科学領域」の視点から学生の学びを統合する	(大学基礎論②)	ゼミナールⅠ②	ゼミナールⅡ②	ゼミナールⅢ②	ゼミナールⅣ②	ゼミナールⅤ②	ゼミナールⅥ②	16単位
専門科目	【本科目選択の考え方】 1-2年次にグローバル社会「地理社会」への視座② 【B群】国際社会研究入門② 【B群】地域研究入門② グローバル社会と地域② 越境社会論②	リサーチリテラシー② 【A群】宗教概論Ⅰ② 中国語中級Ⅰ② グローバル社会と地域② 越境社会論②	【A群】宗教概論Ⅰ② 中国語中級Ⅰ② グローバル社会と地域② 越境社会論②	【B群】人文地理概論Ⅱ② 中国語中級Ⅱ② 越境文化論②	社会ネットワーク論② 国際関係論②	文化人類学② 異文化間コミュニケーション論②			
	【本科目選択の考え方】 「アジア・オセアニア」グローバル社会の分野をグローバルコアとして履修する。「アジア・オセアニア」地域の有する社会的、文化的、特長や課題を、その背後にあるアメリカ、ヨーロッパ等世界との関係、並びに日本との関係などを含めて、国際的な視野に立つ理解ができるようにする。	アジア・オセアニア地域分野	英語パブリックコミュニケーションⅠ② 英語オーラルコミュニケーションⅠ② 社会文化調査論②	英語パブリックコミュニケーションⅡ② 英語オーラルコミュニケーションⅡ② 社会文化調査論②	中国語オーラルコミュニケーションⅠ② 貿易英語② 現代中国社会学文化論② ヨーロッパ・ロシア経済社会文化調査論②	中国語オーラルコミュニケーションⅡ② 東南アジア社会学文化論② 日本社会学論② 比較経済社会学論②			
専門選択科目									30単位
教養科目	【本科目選択の考え方】 現代人として必要な基礎教養、英語及びそれ以外の外国語能力の基礎を身に付けるとともに、大学生活(修学・実生活)を営む高知の文化、社会、自然の特徴について理解する。	対人コミュニケーション② 法を学ぶ② 森林と地球環境② アルコーラ学概論② 中国語Ⅰ②	市民社会論入門② 平和と軍縮② 土佐の自然と農業② 中国語Ⅱ②	食の哲学② 近代美術への接近②					
		学問基礎論② 大学英語入門② 英語実践② 英語② 情報処理②							
初年次科目									28単位

赤字は、必修科目

卒業単位数: 124単位
専門教育科目: 16単位、プラットフォーム科目: 30単位(うち4単位必修、選択科目: 30単位 合計: 84単位以上修得)
共通教育科目: 初年次科目: 12単位、教養科目: 28単位、合計: 40単位以上修得)

※「国際実習Ⅱ」については、集中形式で履修することから、キャンパス間(22単位)の対象とならない科目であるため、2年次第1学期の修得単位数が124単位になっている。

(このモデルを取る学生への履修指導の観点)
学生の希望に応じ、「アジア」を中心として国際的な課題等に対応する知識の履修を推奨する。そのため、「アジア」をテーマにした分野とともに「グローバル社会」を扱う分野を履修し、語学として「英語」「中国語」の2か国語の科目を履修する。また、プラットフォーム科目においては、語学や「文化人類学」の社会科学系の科目、「国際関係論」等の社会科学系の科目、「越境社会論」等の人文科学と社会科学の学際的領域の科目を履修することにより、人文科学の側面だけでなく社会科学の側面からも対象を考察することができる「人文社会科学(領域)」の知識・技法を修得する。

参考資料2-3 社会科学コース履修モデル

学年	1年次		2年次		3年次		4年次		単位合計
	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	
必修科目	卒業論文 学士課程教育の学びを完成する								
	ゼミナール科目 人文社会科学領域の視点から 学生の学びを統合する	(大学基礎論②) (学問基礎論②)	ゼミナールⅠ(社会 制度設計演習Ⅰ) ②	ゼミナールⅡ(社会 制度設計演習Ⅱ) ②	ゼミナールⅢ(専門 演習(ゲーム理論) Ⅰ②)	ゼミナールⅣ(専門 演習(ゲーム理論) Ⅱ②)	ゼミナールⅤ(専門 演習(ゲーム理論) Ⅲ②)	卒業論文④ ゼミナールⅥ(専門 演習(ゲーム理論) Ⅳ②)	16単位
専門科目	フオ ーム ムツ ム科目	【B群】グローバル ② 【B群】社会制度設 計論② 【B群】ミクロ経済学 Ⅰ② 【B群】経営学概論 ②	【A群】心理学概論 Ⅰ② 【A群】西洋史概論 Ⅰ② 外国語文脈講義② グローバル社会と 地域②	【A群】東洋史概論 Ⅱ② 社会心理学②	消費者行動論② 文化人類学②	ビジネス・シミュ レーション②			
	専門 選択科目	【本科目選択の考え方】 1・2年次に「経済学」「経営学」及び外国中 等の基礎を学ぶとともに、専門分野に関わ る外国語を聴解力を中心に習得する。高学 年次には、現代社会の課題を、人文・社会科 学(領域)の学際的手法に基づき、経済、経 営・会計面を踏まえて追究する卒業科目を 履修する。	経済理論分野 経営・会計分野 その他の選択科目	ミクロ経済学Ⅱ② ゲーム理論Ⅰ② 競争戦略論② 簿記原理Ⅰ② 商法Ⅰ②	マクロ経済学② ゲーム理論Ⅱ② マーケティング論② 簿記原理Ⅱ② 商法Ⅱ②	金融論② 組織の経済学② 経営管理論② 専門演習(競争戦 略論)Ⅰ② ビジネス英語Ⅰ②	国際金融論② 専門演習(競争戦 略論)Ⅱ② 日本経済論② ビジネス英語Ⅱ②		
教養科目	【本科目選択の考え方】 現代人として必要な基礎教養、英語及び それ以外の外国語能力の基礎を身に付け るとともに、大学生活(修学、実生活)を営む 高知の文化、社会、自然の特質について理 解する。	市民社会論入門② シオン論を学ぶ② 森林と地球環境② 法を学ぶ② 中国語Ⅰ② 中国語Ⅱ② 四国の歴史と文化 防炎②	TOEIC英語② 食と豊の経済学② 食の哲学② 近代美術への接近 ②						
	初年次科目	大学基礎論② 学問基礎論② 課題総求实踐ゼミ ナー② 英会話② 情報処理②	大学基礎論② 学問基礎論② 大学英語入門②						
1学期履修単位数	8単位	10単位	22単位	22単位	14単位	14単位	4単位	124単位	

赤字は、必修科目

学生の希望・志向
経済学、金融の仕組み、企業の戦略について学びたい。

修得する知識
経済学の理論と経営学、会計学の実務を学び、経済学的手法を
用いて企業の戦略や制度設計を考える力をつける

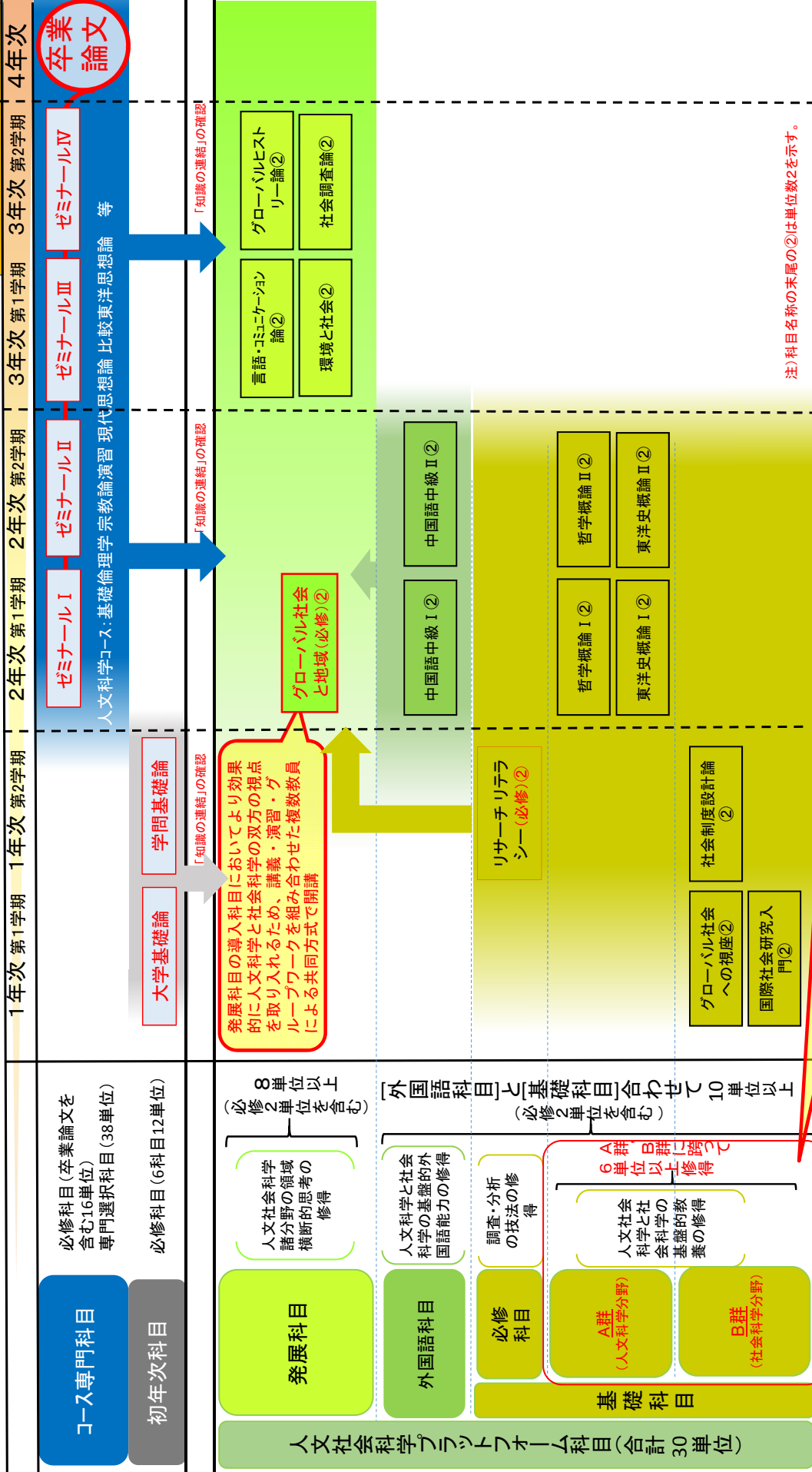
想定される進路
金融機関、および流通・製造業の財務部門などの管理実務、マーケ
ター。

専門履修科目(必修科目):16単位、プラトフォーム科目:30単位(うち4単位必修)、選択科目:38単位 合計:84単位以上修得)
共通教育科目(初年次科目):12単位、教養科目:28単位、合計:40単位以上修得)

【このモデルを取る学生への履修指針の観点】
学生の希望に応じ、「経済理論」分野と関連づけて「経営・会計」分野に関する知識の修得を推奨する。そのため、「社会制度設計論」「社会制度設計演習Ⅰ・Ⅱ」において両分野を関連づける方法論を
習得した上で、関係科目として「専門演習(ゲーム理論)ⅠⅡ」および「選択科目」として「専門演習(競争戦略論)ⅠⅡ」を履修し、両分野における専門性を確かなものにする。
また、プラトフォーム科目においては、語学や「文化人類学」等の人文社会科学の学際的領域の科目を履修し、社会科学からだけでなく人文科学からも
対象を考察することができる「人文社会科学(領域)」の知識・技法を修得する。

人文社会科学プラットフォーム科目における「知識の連結」

人文科学コース



「知識の連結」の確認

「知識の連結」の確認

「知識の連結」の確認

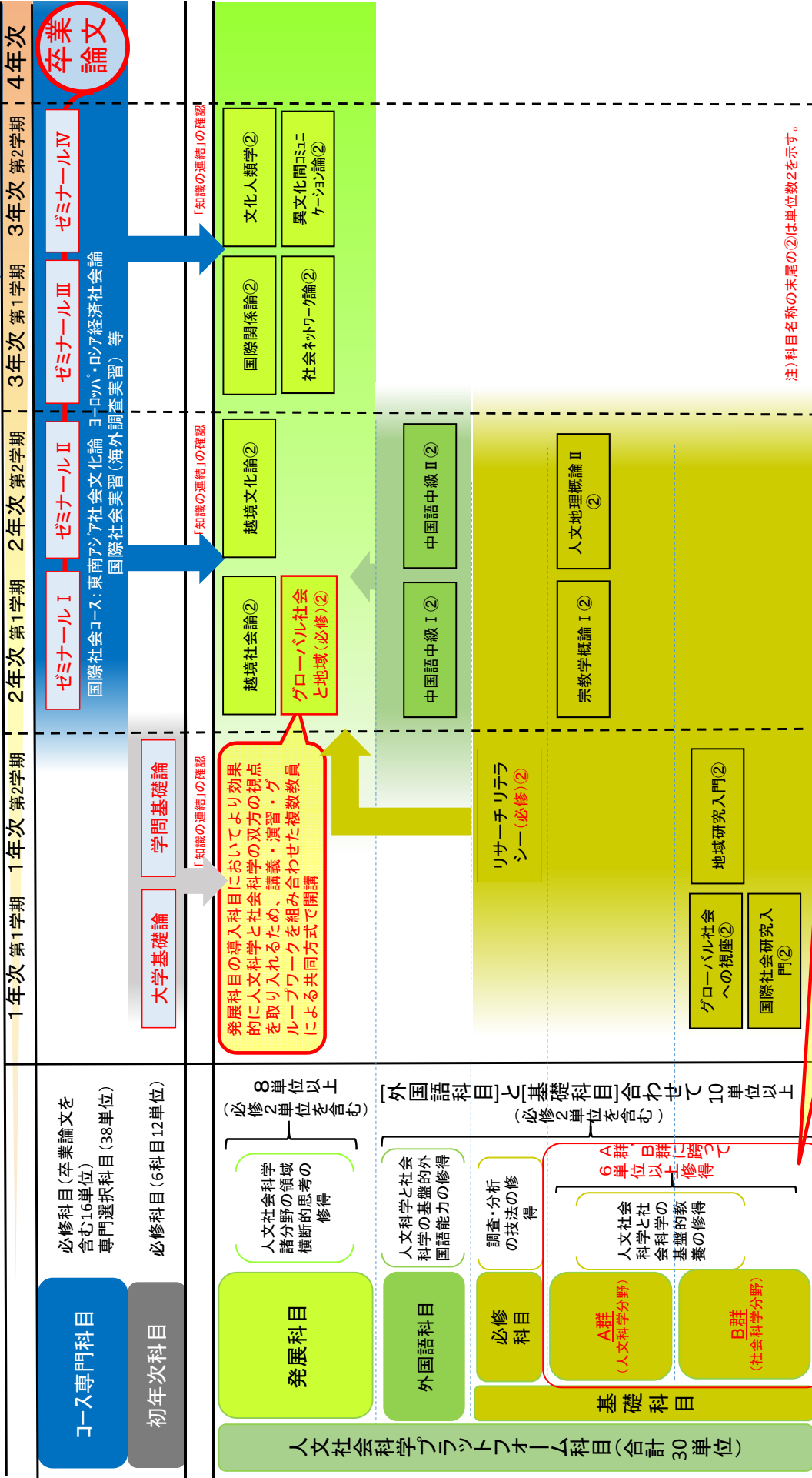
発展科目の導入科目においてより効果的に人文科学と社会科学の双方の視点を取り入れるため、講義・演習・グループワークを組み合わせた複数教員による共同方式で開講

「発展科目」につながる人文社会科学(領域)の教養の基礎を修得させる仕掛けとして「基礎科目」を「人文科学分野」と「社会科学分野」に区分した上で、履修単位数を設定

注)科目名称の末尾の②は単位数2を示す。

人文社会科学プラットフォーム科目における「知識の連結」

国際社会コース



注) 科目名称の末尾の②は単位数2を示す。

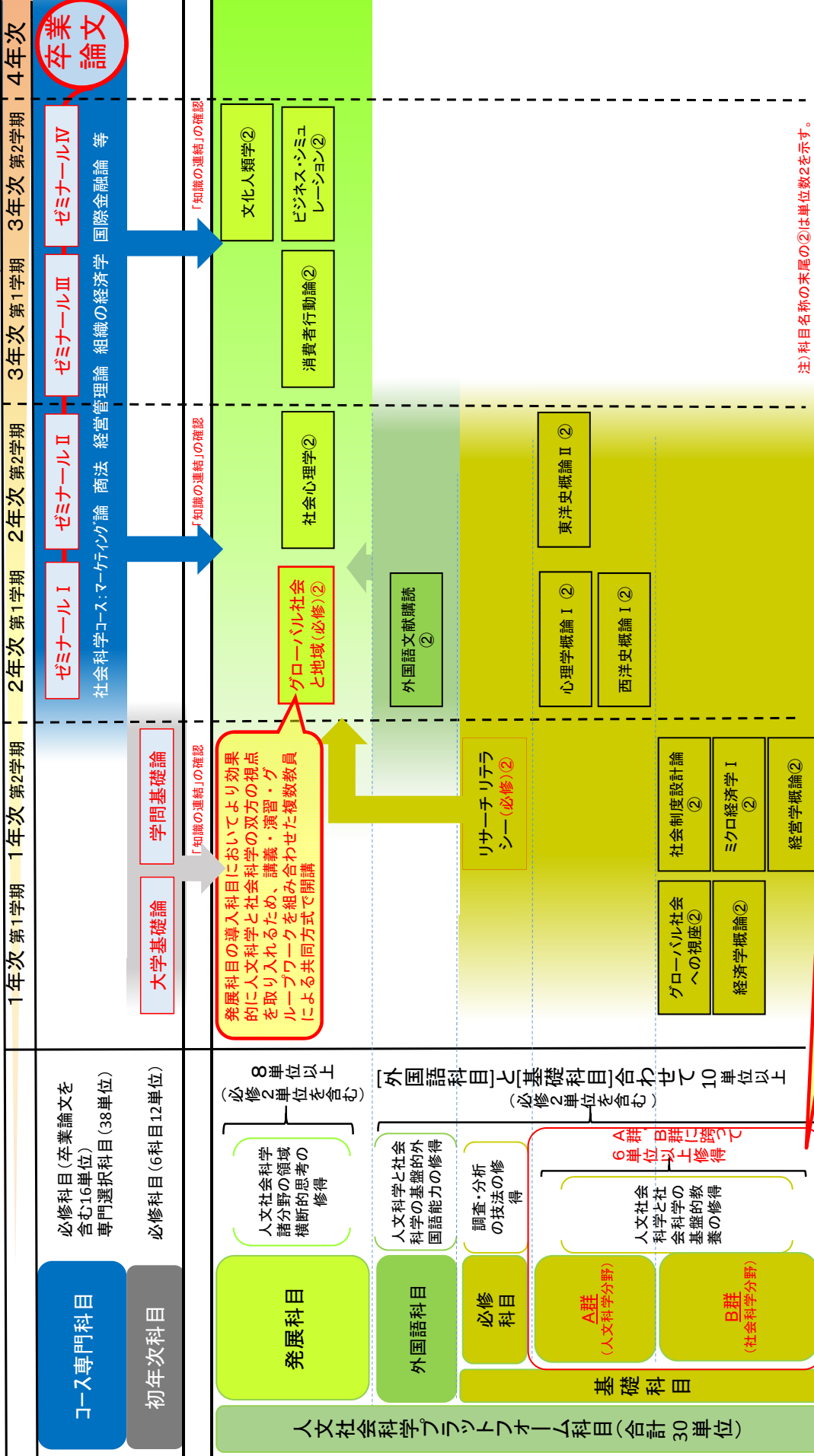
発展科目の導入科目においてより効果的に人文科学と社会科学の双方の視点を取り入れるため、講義・演習・グループワークを組み合わせた複数教員による共同方式で開講

「発展科目」につながる人文社会科学（領域）の教養の基礎を修得させる仕掛けとして「基礎科目」を「人文科学分野」と「社会科学分野」に区分した上で、履修単位数を設定

参考文献2-6 人文社会科学プラットフォーム科目における知識の連結（社会科学コース）

人文社会科学プラットフォーム科目における「知識の連結」

社会科学コース



注)科目名称の末尾の②は単位数2を示す。

「発展科目」につながる人文社会科学(領域)の教養の基礎を修得させる仕掛けとして「基礎科目」を「人文科学分野」と「社会科学分野」に区分した上で、履修単位数を設定